

2018年5月30日

ホテルの燃料電池向けに使用済プラスチック由来低炭素水素の供給を開始

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）は、当社川崎事業所（神奈川県川崎市）で製造する使用済プラスチック由来の低炭素水素（以下、低炭素水素）について、6月1日に開業する川崎キングスカイフロント東急 REI ホテルに向けて、供給を開始します。

当社川崎事業所では、アンモニア製造工程において、原料となる水素を使用済プラスチックから取り出す製造方法を2003年から導入しています。本製造方法では使用済プラスチックを原料とすることで化石燃料の消費を抑えるだけでなく、製造工程で発生する二酸化炭素をドライアイスにリサイクルするなど副生物を資源として有効活用しており、従来の製造方法に比べ、環境負荷の低減に大幅に寄与しています。

本取り組みは、「使用済プラスチック由来低炭素水素を活用した地域循環型水素地産地消モデル実証事業」は環境省の実証事業に採択されています。また川崎市が推進する「川崎エコタウン事業」の一環として導入されたものです。

使用済プラスチック由来の低炭素水素が燃料電池向けとしてホテルで使用されるのは世界でも初めてです。川崎キングスカイフロント東急 REI ホテルでは、今後、低炭素水素を大型燃料電池により電気や熱などのエネルギーとして利用いたします。

昭和電工は、当社グループの製品・技術が、地球環境やエネルギー・資源問題等の社会的課題の解決に貢献できるように事業を進めております。今後も環境にやさしい製品や製造プロセスの開発を進め、持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

以上

◆ 本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

